

梓川地区の公共交通に関するアンケート調査報告書 【一般住民対象】

1 調査概要

(1) 調査の目的

梓川地区の公共交通に関する課題の原因分析、改善策、補完策を検討することを目的に実施しました。

(2) 調査対象

梓川地区の全世帯の成人を対象とし、60歳以上の方がいる場合は、その内の1人に回答を依頼しました。

(3) 実施方法

町会長、隣組長経由でアンケート用紙を配布し、後日回収を行いました。また、ながの電子申請サービスによる回答も併用して受け付けました。

(4) 調査期間

令和3年7月28日～8月20日

(5) 回収結果

ア 町会別アンケート回収数

生活圏	山麓南部				立田		学校周辺				
町会	八景山	花見	上野	丸田	上立田	下立田	杏	こまち	上角	下角	角影台
回収数	22	38	52	66	135	54	44	23	43	143	19
	178				189		272				

山麓北部				北大妻	上・南大妻		横沢	氷室・岩岡		合 計
小室	北々条	南北条	大久保	北大妻第1～4	上大妻	南大妻第1・2	横沢第1～3	氷室第1・2	岩岡	
63	22	12	32	140	63	136	200	162	90	1,559
129				140	199		200	252		

イ 年代別アンケート回収数

20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	未記入	合 計
8	51	215	231	407	448	187	9	3	1,559

2 調査結果のまとめ

- (1) コミュニティバス等の公共交通に望むこととして、地区内の移動よりも松本市中心市街地への移動の需要が高い傾向がみられました。

コミュニティバスの路線・本数等の見直しや、松本市中心市街地までの直行便等について検討する必要があると思われます。

- (2) コミュニティバス以外の新しい公共交通サービス等の利用については、「送迎ボランティア」の利用を望む声が多く、地区の特性上、幹線道路から離れている住宅が多いため、自宅から目的地までの移動を望む人が多いと思われます。

次いで、「波田循環バス」のような地区内を循環するバスを望む声が多く寄せられました。

3 調査結果の詳細

(1) 回答者の現状

ア 「年間を通じて最も行く場所（方面）はどこですか」（問2-1：1つを選択）

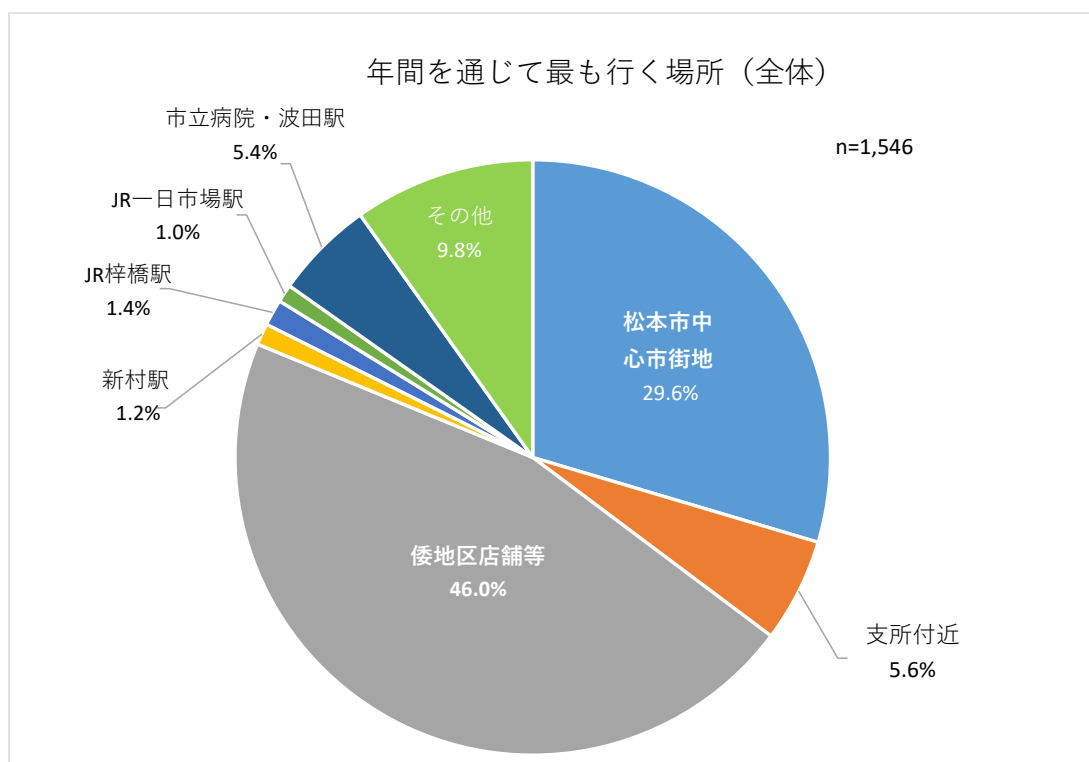
全体では「倭地区幹線道路沿い店舗等」と答えた割合が最も高く 46.1%で、次いで「松本市中心市街地」でした。年代別にみると、若い世代ほど「松本市中心市街地」の割合が高く、年代が上がると「倭地区幹線道路沿い店舗等」が高くなる傾向がみられました。

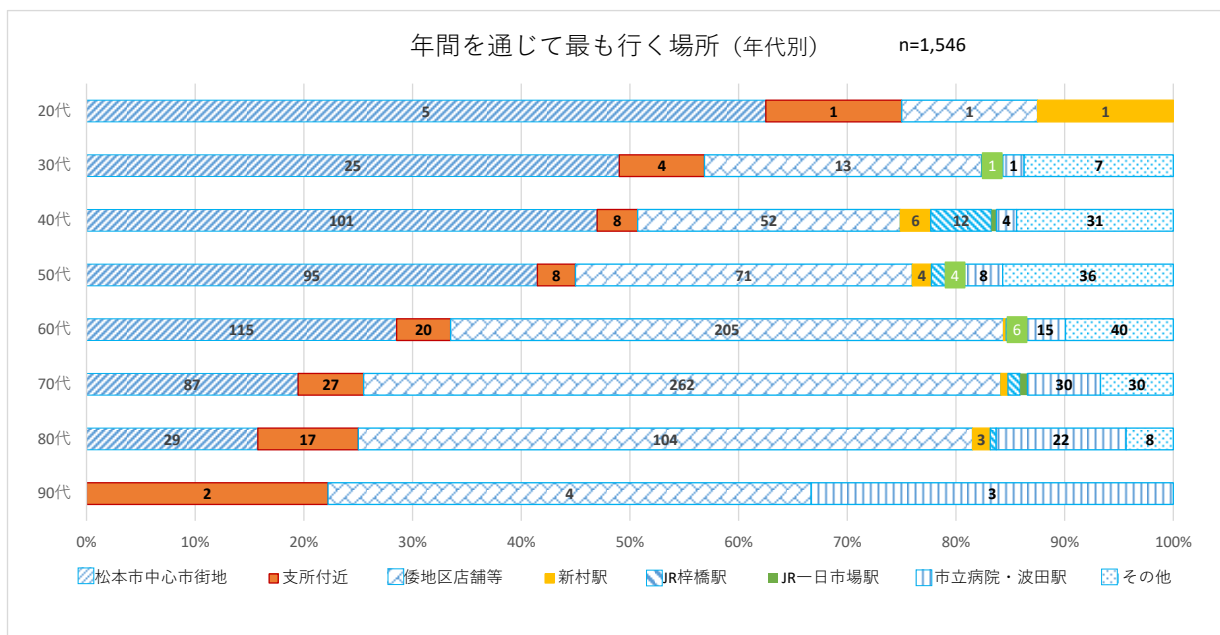
年代	松本市中心市街地	支所付近	倭地区店舗等	新村駅	JR梓橋駅	JR一日市場駅	市立病院・波田駅	その他	計
20代	5	1	1	1					8
30代	25	4	13			1	1	7	51
40代	101	8	52	6	12	1	4	31	215
50代	95	8	71	4	3	4	8	36	229
60代	115	20	205	1	1	6	15	40	403
70代	87	27	262	3	5	3	30	30	447
80代	29	17	104	3	1		22	8	184
90代		2	4				3		9
計	457	87	712	18	22	15	83	152	1,546
構成比率	29.6%	5.6%	46.0%	1.2%	1.4%	1.0%	5.4%	9.8%	100.0%

※ 年齢不明、未記入を除く

「その他」の主な内容（単位：人）

- ・安曇野市 (60)
- ・朝日村、山形村(アイシティ) (18)
- ・塩尻市 (10)
- ・南松本方面 (10)
- ・神林(スカイパーク)、今井方面 (9)
- ・村井方面 (5)
- ・島内、島立(合庁) (5)
- ・大北地域 (4)





イ その際の交通手段は（問2-2：1つを選択）

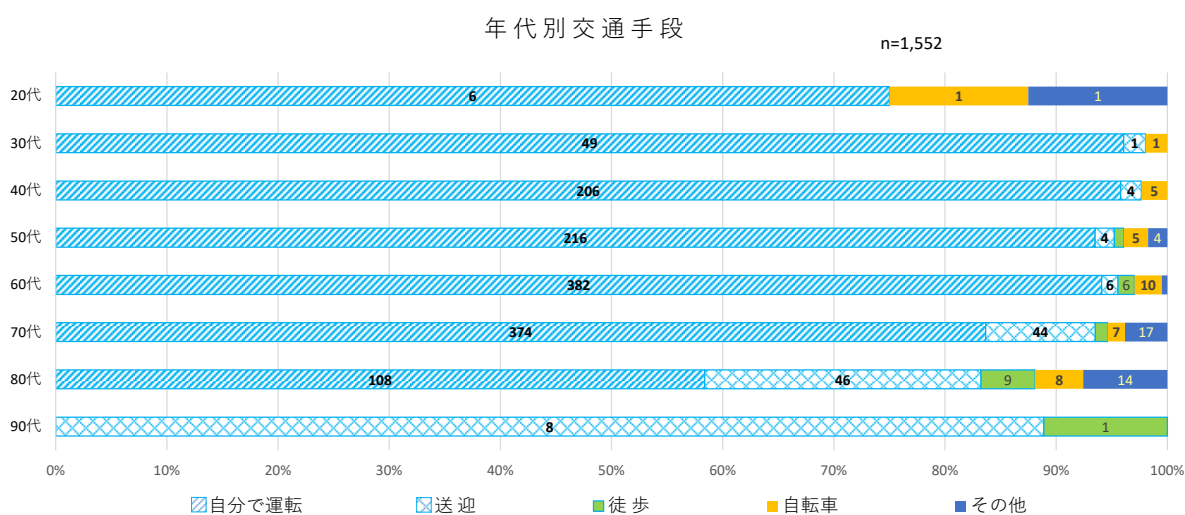
全体では、「自分で運転」と答えた割合が86.4%に上りましたが、80歳代になると急激に低下し、90歳代では皆無でした。

年代	自分で運転	送迎	徒歩	自転車	その他	計
20代	6			1	1	8
30代	49	1		1		51
40代	206	4		5		215
50代	216	4	2	5	4	231
60代	382	6	6	10	2	406
70代	374	44	5	7	17	447
80代	108	46	9	8	14	185
90代		8	1			9
計	1,341	113	23	37	38	1,552
構成比率	86.4%	7.3%	1.5%	2.4%	2.4%	100%

※ 年齢不明、未記入を除く

「その他」の主な内容（単位：人）

- ・西部コミュニティバス（15）
- ・バイク（8）
- ・タクシー（6）
- ・電車（6）



ウ その際の目的は (問2-3: 1つを選択)

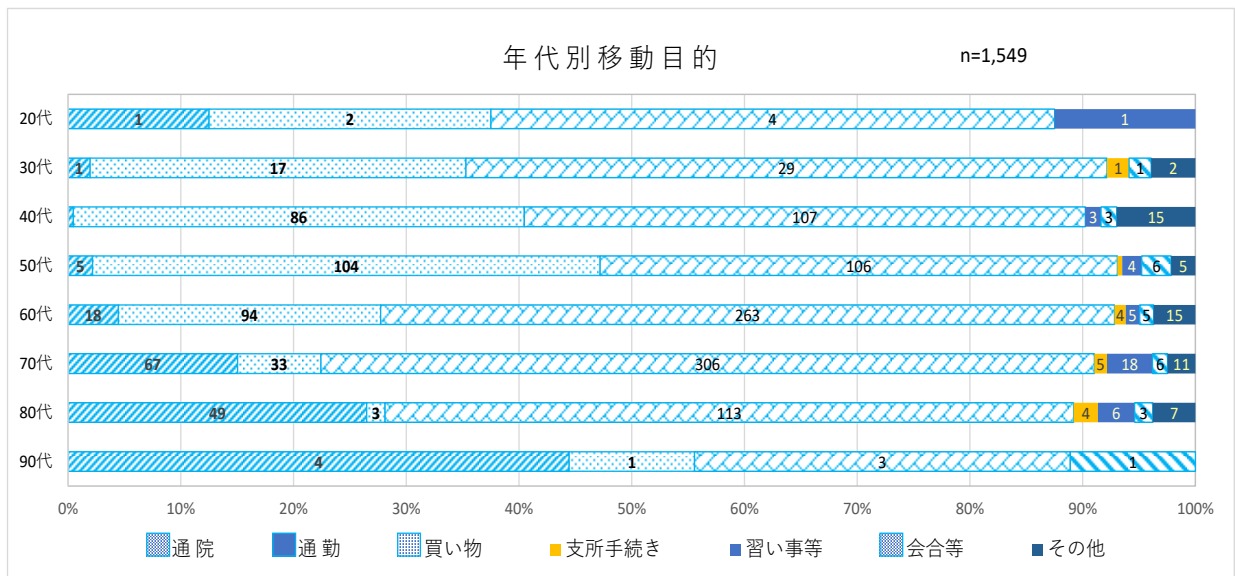
全体では「買い物」と答えた割合が最も高く 60.1%でした。70歳代から上の世代は「通院」の割合が高くなっています。

年代	通院	通勤	買い物	支所手続き	習い事等	会合等	その他	計
20代	1	2	4		1			8
30代	1	17	29	1		1	2	51
40代	1	86	107		3	3	15	215
50代	5	104	106	1	4	6	5	231
60代	18	94	263	4	5	5	15	404
70代	67	33	306	5	18	6	11	446
80代	49	3	113	4	6	3	7	185
90代	4	1	3			1		9
計	146	340	931	15	37	25	55	1,549
構成比率	9.4%	21.9%	60.1%	1.0%	2.4%	1.6%	3.6%	100%

※ 年齢不明、未記入を除く

「その他」の主な内容 (単位: 人)

- ・送迎 (13)
- ・家族、友人に会う (3)
- ・農協 (3)
- ・仕事上の訪問等 (2)

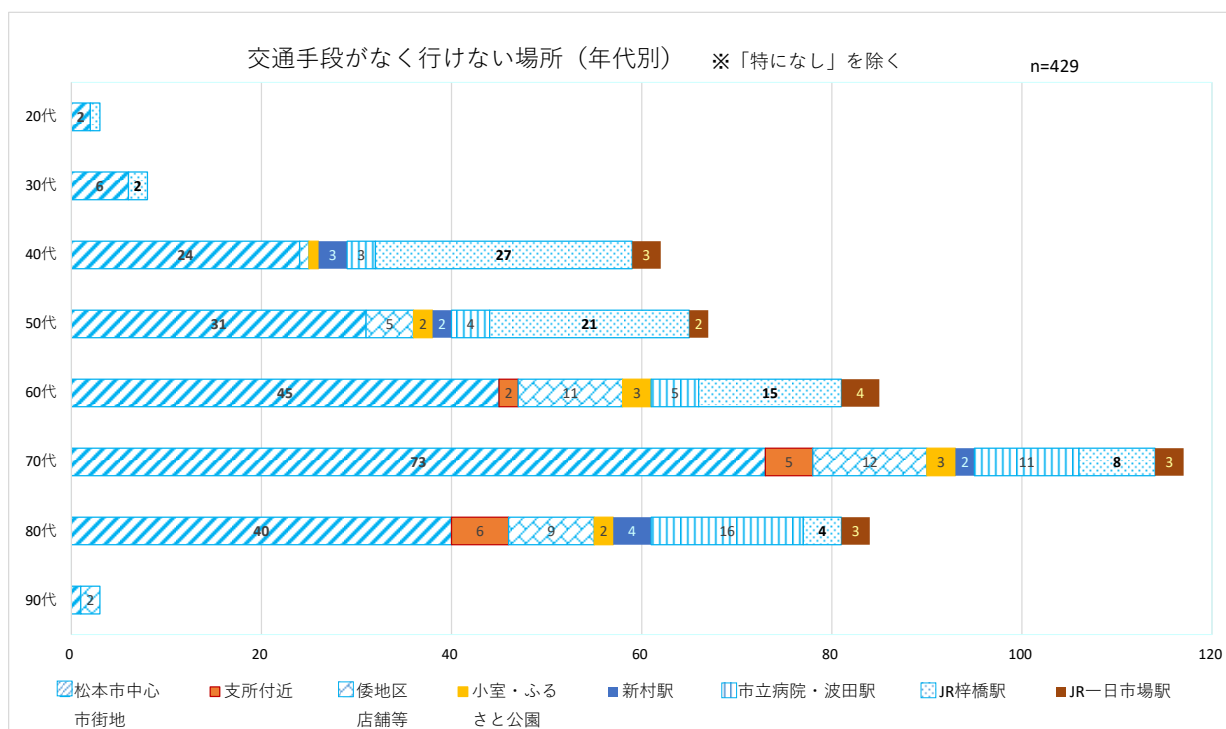


エ 交通手段がないことで行きたくてもいけない場所は (問2-4: 1つを選択)

全体として「松本市中心市街地」と答えた割合が最も高く、「特になし」を除いて 51.7%でした。また、40歳代を除く全ての年代で「松本市中心市街地」と答えた割合が最も高くなっています。

年代	松本市中心市街地	支所付近	倭地区店舗等	小室・ふるさと公園	新村駅	市立病院・波田駅	JR梓橋駅	JR一日市場駅	計	特になし	合計
20代	2						1		3	4	7
30代	6						2		8	42	50
40代	24		1	1	3	3	27	3	62	152	214
50代	31		5	2	2	4	21	2	67	162	229
60代	45	2	11	3		5	15	4	85	303	388
70代	73	5	12	3	2	11	8	3	117	305	422
80代	40	6	9	2	4	16	4	3	84	92	176
90代	1		2						3	4	7
計	222	13	40	11	11	39	78	15	429	1,064	1,493
構成比率	51.7%	3.0%	9.3%	2.6%	2.6%	9.1%	18.2%	3.5%	100%		

※ 年齢不明、未記入を除く



(2) 西部コミュニティバス梓川・波田線（以下「バス」という。）の利用状況

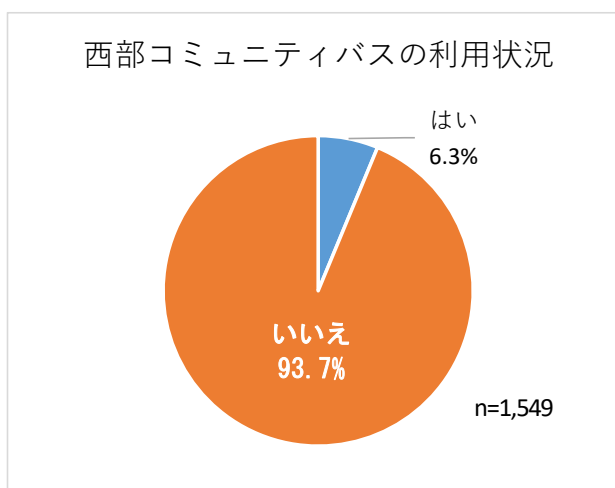
ア バスを利用しているか（問3-1：1つを選択）

「はい」と答えた割合は全体の6.3%でした。

なお、70歳代以上の人だけでみると7.6%でした。

利用有無	人数	割合
はい	97	6.3%
いいえ	1,452	93.7%
計	1,549	100%

※未回答を除く



イ <バスを利用している人> への問い

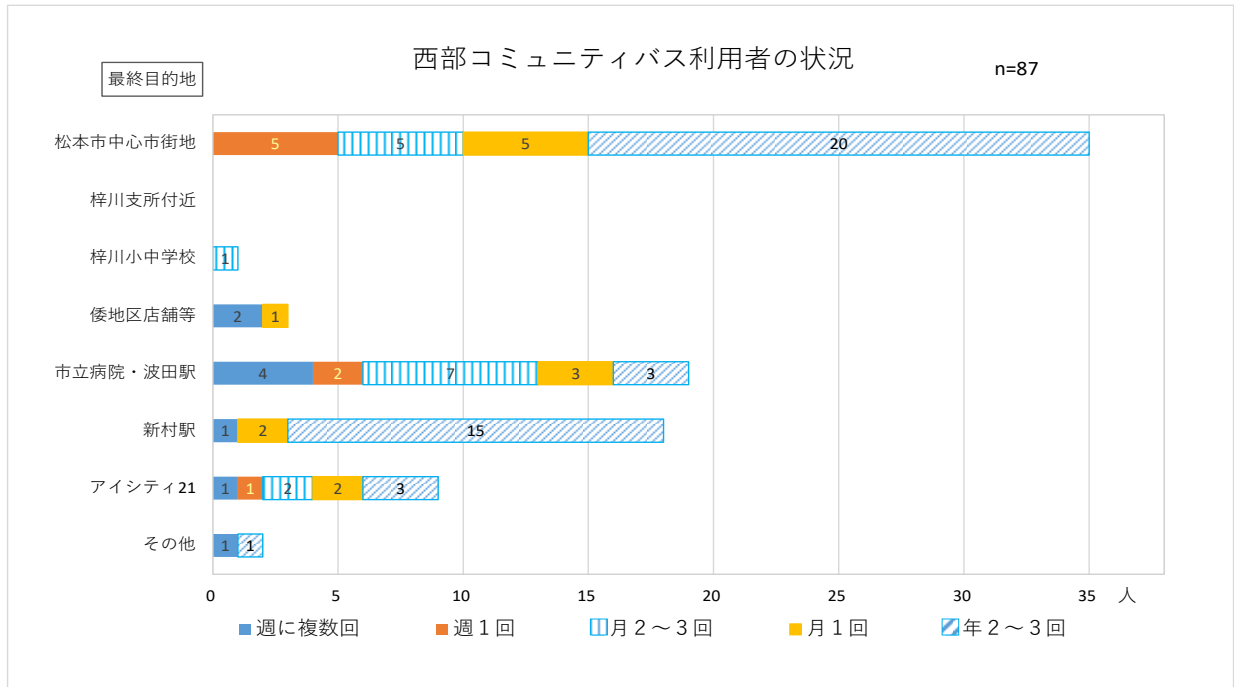
どの程度利用しているか（問3-2：1つを選択）

最終目的地はどこか（問3-3：1つを選択）

利用頻度は、「年2～3回」と答えた割合が最も高く48.3%でした。最終目的地は、「松本市中心市街地」が最も高く40.2%、次いで「市立病院・波田駅」、「新村駅」がほぼ同数でした。

最終目的地	週に複数回	週1回	月2～3回	月1回	年2～3回	計	構成比率
松本市中心市街地		5	5	5	20	35	40.2%
梓川支所付近						0	0.0%
梓川小中学校			1			1	1.2%
倭地区店舗等	2			1		3	3.5%
市立病院・波田駅	4	2	7	3	3	19	21.8%
新村駅	1			2	15	18	20.7%
アイシティ21	1	1	2	2	3	9	10.3%
その他	1				1	2	2.3%
計	9	8	15	13	42	87	100%
構成比率	10.4%	9.2%	17.2%	14.9%	48.3%	100.0%	

※ 問3-2、3-3の一方または両方が未回答だった人を除く



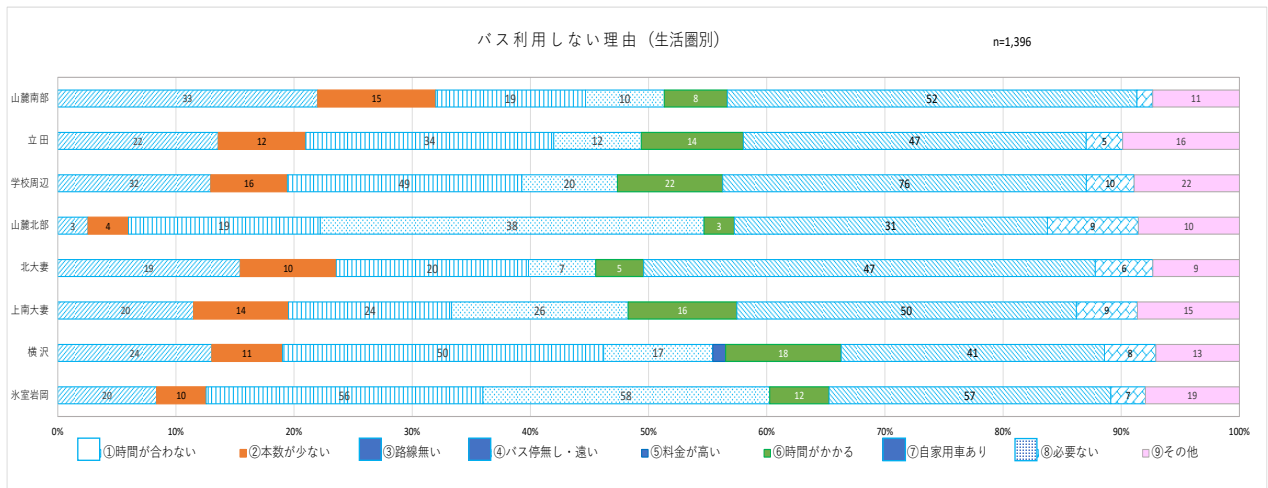
ウ <バスを利用していない人> への問い

利用しない理由は (問3-4: 1つを選択)

全体として、「自家用車がある」と答えた割合が最も高く 28.7%でした。次いで、「目的地への路線がない」が 19.4%、「利用したい時間帯に運行していない」が 12.4%でした。生活圏別にみると、バス路線のない山麓北部と氷室・岩岡は、「目的地への路線がない」と「バス停無し・遠い」と答えた割合が他地域に比べて高くなりました。

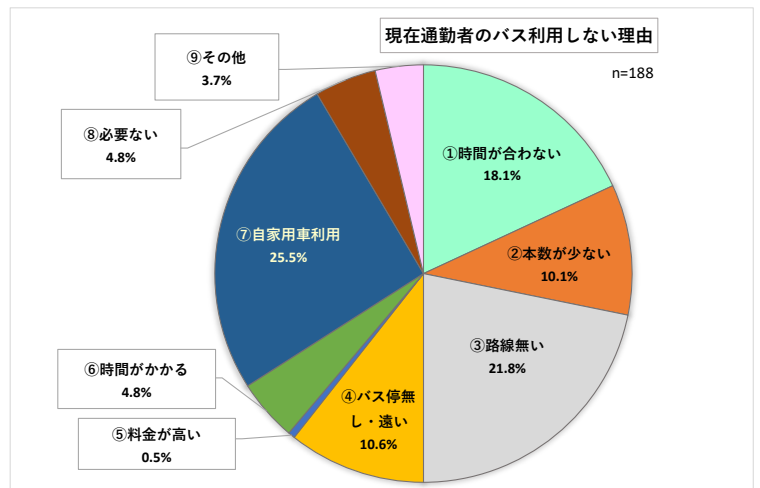
利用しない理由	山麓南部	立田	学校周辺	山麓北部	北大妻	上南大妻	横沢	氷室岩岡	計	構成比率
①時間が合わない	33	22	32	3	19	20	24	20	173	12.4%
②本数が少ない	15	12	16	4	10	14	11	10	92	6.6%
③路線無い	19	34	49	19	20	24	50	56	271	19.4%
④バス停無し・遠い	10	12	20	38	7	26	17	58	188	13.5%
⑤料金が高い							2		2	0.2%
⑥時間がかかる	8	14	22	3	5	16	18	12	98	7.0%
⑦自家用車あり	52	47	76	31	47	50	41	57	401	28.7%
⑧必要ない	2	5	10	9	6	9	8	7	56	4.0%
⑨その他	11	16	22	10	9	15	13	19	115	8.2%
計	150	162	247	117	123	174	184	239	1,396	100%

※ 理由の未記入を除く



【通勤している人に絞ると】
全体の傾向と同様でした。

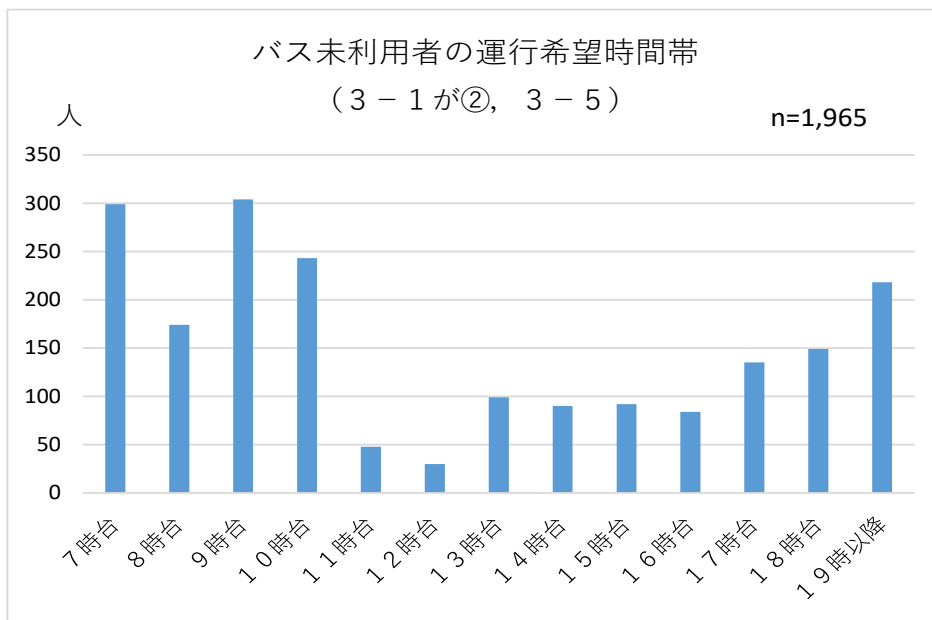
利用しない理由	人数
①時間が合わない	34
②本数が少ない	19
③路線無い	41
④バス停無し・遠い	20
⑤料金が低い	1
⑥時間がかかる	9
⑦自家用車利用	48
⑧必要ない	9
⑨その他	7
計	188



エ <バスを利用していない人> への問い

運行を希望する時間帯は (問3-5: 複数選択)

午前は、通勤時間帯の「7時台」及び「8時台」から「10時台」、午後は「17時台」から「19時以降」と答えた割合が高くなっています。

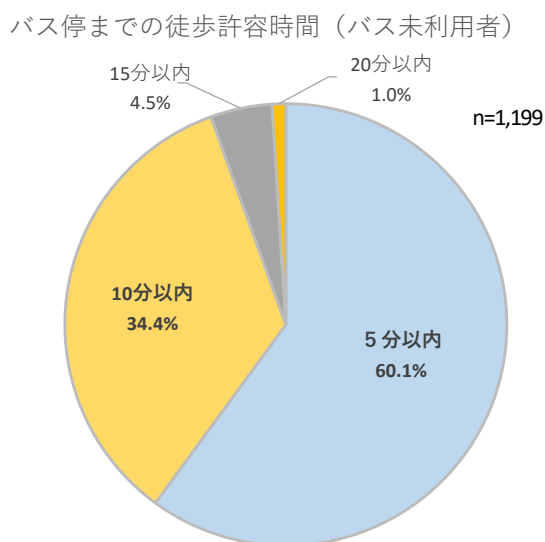


オ <バスを利用していない人> への問い
 バス停は徒歩でどの位ならよいか (問3-6: 1つ選択)

「5分以内」と答えた割合が60%を超えました。

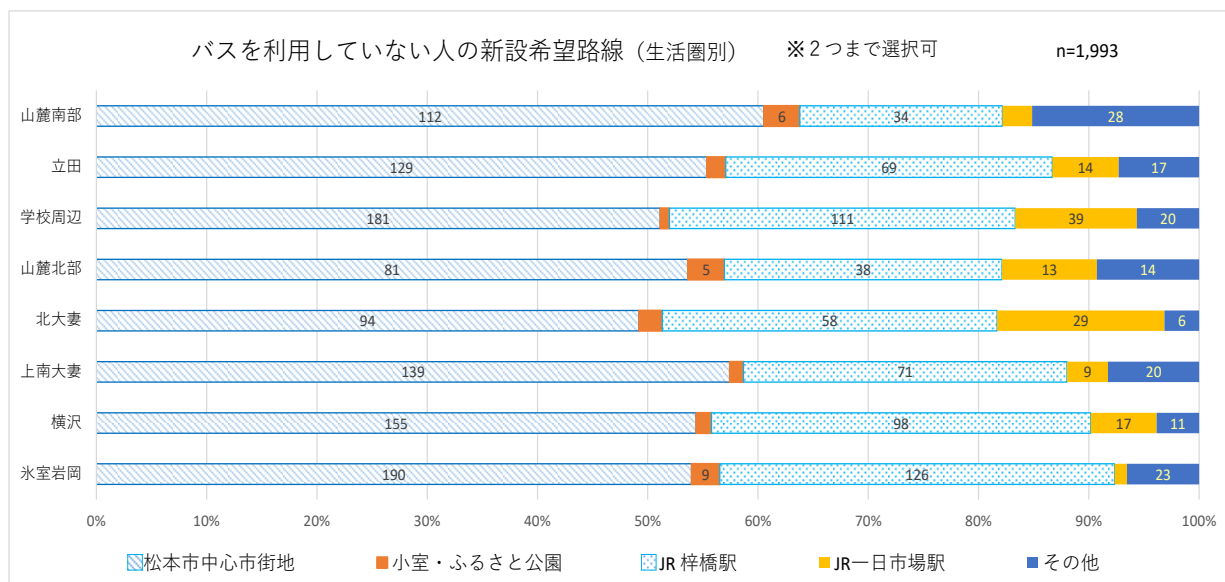
許容時間	人数	割合
5分以内	720	60.1%
10分以内	413	34.4%
15分以内	54	4.5%
20分以内	12	1.0%
計	1,199	100%

※ 未回答を除く



カ <バスを利用していない人> への問い
 どこへ行く路線があれば利用したいか (問3-7: 複数選択)

全ての生活圏において、「松本市中心市街地」と「JR梓橋駅」を希望する人が大多数を占めました。全体で、「松本市中心市街地」と答えた割合は回答者の74.4%、「JR梓橋駅」は41.7%でした。



「その他」の主な内容 (単位: 人)

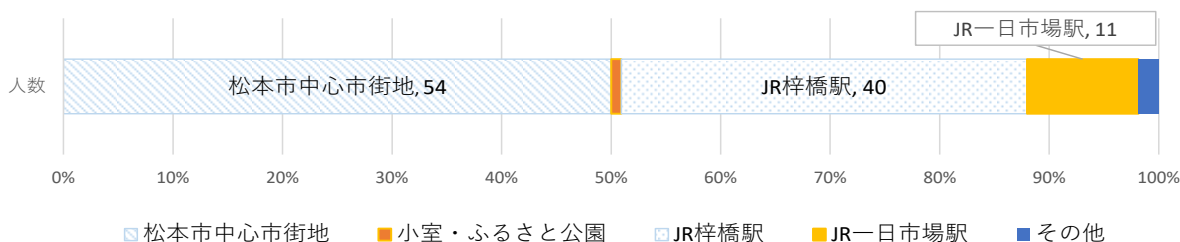
- アイシティ、山形村 (16)
- 豊科、豊科日赤病院 (7)
- 空港、スカイパーク、アルウィン (4)
- 合庁付近、島立付近、島内 (4)
- 丸の内病院、渚ライフサイト (3)
- 倭地区幹線道路沿い店舗、ビッグ (11)
- 森口駅、下島駅 (6)
- 松本 IC (4)
- 南松本、筑摩 (3)
- 塩尻方面 (3)

【通勤者で、希望路線がないためバスを利用していない人に絞ると】

「松本市中心市街地」と「JR梓橋駅」を希望する人が大多数を占めました。

現在通勤者で希望路線がなくバス利用しない者が希望する路線

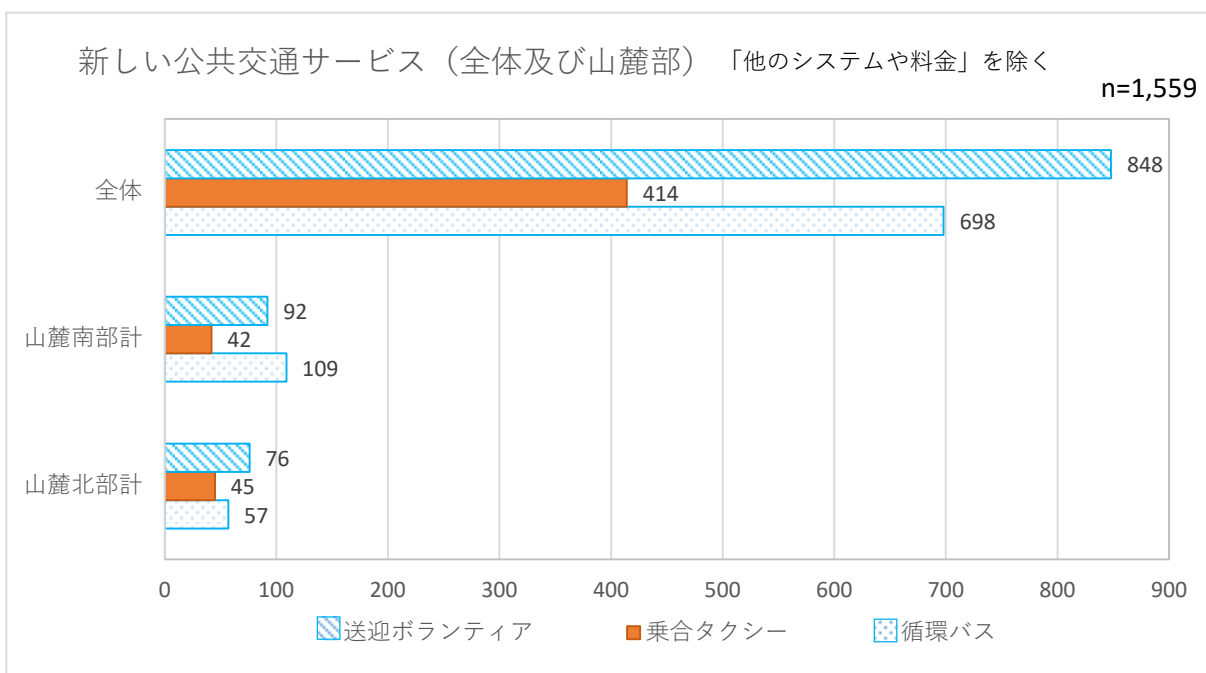
n=108



(3) 新しい公共交通サービス等の利用について

「波田循環バス」や「島内川東乗合タクシー」、「送迎ボランティア」のような交通手段を利用したいか、また、その他に希望するシステムはあるか。(問4-1：複数選択)

全体として、「送迎ボランティア」を利用したいと答えた割合が最も高く(回答者の54.4%)、次いで「循環バス」(44.8%)でした。生活圏別にみると、山麓南部のみ反対の傾向で、「循環バス」と答えた割合が最も高く、次いで「送迎ボランティア」でした。



「他のシステムや料金」の主な内容(単位：人)

- タクシー券
 - ・タクシーの割引券等、タクシー代の補助を希望(23)
- 鉄道等への連絡バス
 - ・松本市中心市街地まで往復できるバス(直通・循環)(10)
 - ・JR梓橋駅まで往復できるバス(10)
 - ・新村駅に全便接続する循環バス(2)
- デマンド型交通等
 - ・予約制の乗合タクシーを安価に利用できるシステム(6)
- 循環バス
 - ・市内同様の100円循環バス(6)
- 送迎ボランティア等

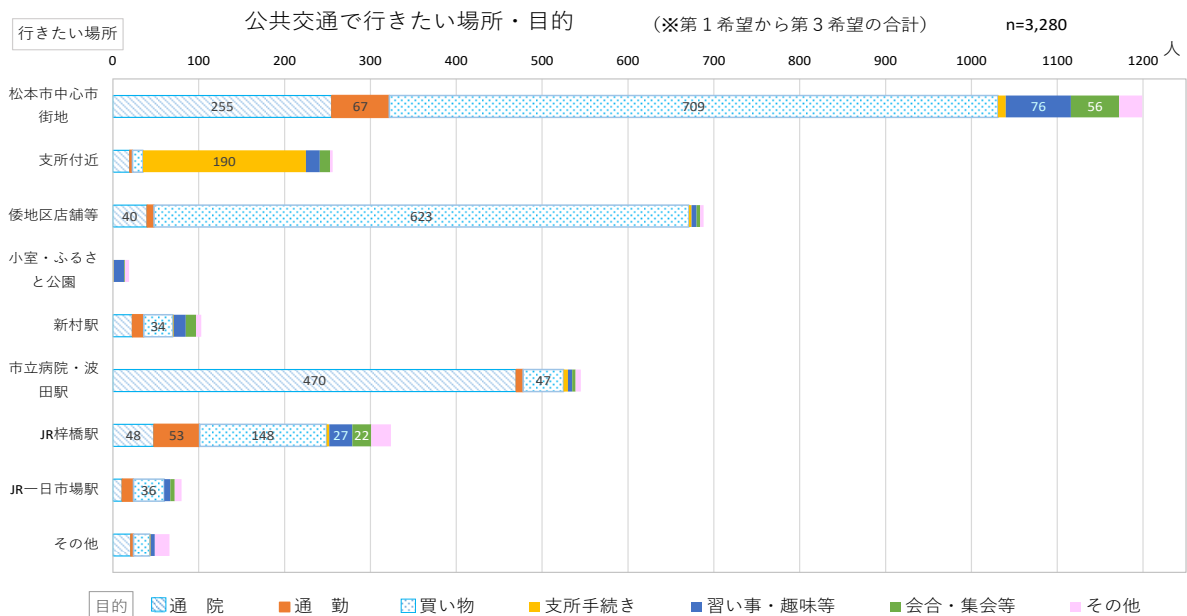
- ・送迎ボランティアについて医院・商店等からも経費等の協力を頂く
- ・高齢者優遇のため低料金ボランティアによる送迎サービス
- ・地区（まちづくり協議会など）で車を所有し複数のボランティア運転手で活用する
- ・地域行事等に参加でポイント付加を受け、そのポイント料で公共交通を使えるようなシステム

○その他

- ・自動運転車（3）
- ・上高地線と並走する路線バス
- ・小室地区発着のバス
- ・買い物ツアーを定期的集めてくれれば利用したい
- ・買い物を自宅まで運んでくれるシステム
- ・仕事をしている人が目的地に早く安く行ける手段が欲しい（循環バス、乗合タクシー、送迎ボランティアは高齢者向けにはよいが）
- ・DXを使用した新しい交通システム
- ・GPSでバス停通過を家族に知らせるシステム
- ・急な用事にも安価で対応してくれるシステム
- ・路面電車

(4) 将来にわたって公共交通サービスを利用して行きたい場所、またその目的は
(問5：複数選択)

行きたい場所の希望は、最も多いのが「松本市中心市街地」（回答者の76.9%）、次いで「倭地区幹線道路沿い店舗等」（44.1%）で、その目的は「買い物」と答えた割合が90.6%でした。次に多いのは「市立病院・波田駅」（35.0%）で、目的は「通院」と答えた割合が86.2%でした。



(5) 「冬期間の利用交通に関する意見・要望」 主なもの (問6：自由記述) (単位：人)

- ア 迅速な除雪、渋滞対策として道路改良を
- ・降雪時は道路の早めの除雪をお願いしたい (14)
 - ・除雪区域を生活道路にまで拡充してほしい。地域も高齢化により除雪が難しくなってきた (4)
 - ・降雪時に電車やバスが遅れることが多くて不安 (3)

- ・ 道路改良をお願いしたい（中央橋や倭橋の降雪時の渋滞対策、橋への道路勾配緩和等）（2）
 - イ バスの通年運行を
 - ・ 季節に関係なく通年で同じ体制で運行してほしい。（11）
 - ・ 利用者は少ないにせよ、通学する子どもや高齢者世帯のためにコミュニティバスは必要（3）
 - ・ 休日や年末年始も運行してほしい（2）
 - ウ 停留所の増設や待合所整備を
 - ・ ベンチや、雨・風・雪をしのげる屋根のある待合所を整備してほしい（7）
 - ・ 家の近くに停留所があれば助かる（4）
 - エ JR線への連絡を
 - ・ 降雪時の朝は大渋滞になるので、子どもたちやバイク等に乗れない大人のために、JR梓橋駅・一日市場駅などの通学・通勤時間帯のコミュニティバスが欲しい（6）
 - オ ドア to ドア で
 - ・ 冬期間だけでも、高齢者はバス停ではなく自宅前での送迎を（3）
 - カ 運行状況のわかるシステムを
 - ・ 冬場は遅延する場合がありますので、バスの運行状況を確認できるようなシステムの導入を（2）
 - キ その他
 - ・ バスやデマンドタクシーでは利用者数が不十分であれば、タクシー券を補助するのはどうか
 - ・ 乗合タクシーがあればよい
 - ・ 松本駅までの直通バスが欲しい
- (6) 「その他の意見・要望」 主なもの（問7：自由記述）（単位：人）
- ア バスを走らせて
 - ・ バスを運行して欲しい（50）
 - ※ 山麓北部や氷室・岩岡の人から、以前あったバス路線の復活や、梓川地区全域をくまなく運行するバスの運行を望む声が多い。
 - イ ダイヤについて
 - ・ 本数の増加、運行時間の見直しを（41）
 - ※ 上高地線やJR線の駅の発着時刻、通勤・通学時間帯に合わせて欲しいと記入した人が約半数。また、山麓南部の本数の増加、冬期間のみ増便等
 - ・ 運行ルートの見直しを（16）
 - ※ JR線の駅への連絡を希望する人が約半数。また、山麓北部への路線の新設、旧村時代のバス路線の復活、松本合同庁舎、ラーラ松本、浅間温泉等への路線の新設希望等
 - ・ バス停を増やして欲しい（12）
 - ・ 休日運行をして欲しい（10）
 - ・ 高齢者にもわかりやすいようにシンプルなダイヤにして欲しい（5）
 - ・ 運賃は低料金で（1）
 - ・ 上高地線に並走するバスを（1）
 - ウ JR線への連絡、パークアンドライドの環境整備を
 - ・ JR梓橋駅への通学・通勤時間帯のバスが欲しい（43）
 - ・ JR松本駅や松本市中心市街地への通学・通勤時間帯のバスが欲しい（41）
 - ・ JR一日市場駅への通学・通勤時間帯のバスが欲しい（3）

- ・ JR梓橋駅周辺に駐車場の設置を (4)
 - ・ パークアンドライドを推進するならば、割引料金等の検討はできないものか (1)
- エ タクシーを利用しやすい環境を
- ・ 高齢者や免許返納等した人にタクシー券の配布を (12)
 - ・ 乗合タクシーの運行を (10)
 - ・ タクシーの営業所の設置または駅前待機を (1)
- オ デマンド型等の新システム導入を
- ・ 予約制によるタクシー、乗合タクシー、バスの運行を (23)
 - ※ ・ 上限を決めてウェブ予約によるオンデマンド運行。その際、スマホで運行状況も確認できるシステムにする。
 - ・ 自宅から目的地まで送迎してもらえるとありがたい。
 - ・ 買い物、通院等の用が済むまで待っていてくれるようなシステムがあればよい。
 - ・ 将来を見据えて「Ma a S」★、AI オンデマンド交通の実現に向けて準備する。
 - ★ Ma a S : ICTを活用して交通をクラウド化し、マイカー以外の全ての交通手段による移動を一つのサービスとしてネットワーク化する。利用者はスマホ等を用いて、交通手段やルート検索したり、交通機関を利用でき、運賃等の決済を行う例が多い。
 - ・ 何らかの新しいシステムの構築を (4)
 - ※ ・ スクールバスの広域化や大增便をし、そこに交通弱者も便乗できるようにする。
 - ・ スマホで、バス停へのバスの到着時刻がわかるシステムがあれば利用しやすくなる。
- カ 送迎ボランティアの拡充を
- ・ 送迎ボランティアを随時お願いできるよう制度を充実して欲しい (11)
 - ※ 有料にした方が気兼ねなく利用できるという意見あり
- キ その他
- ・ 現在は自家用車で動き回れるが、それが出来なくなった時のことを考えると、今の運行状況だと非常に不安だ (13)
 - ・ 通学・通勤時の渋滞緩和、安全対策のため道路の改良を (10)
 - ※ 倭交差点右折レーン新設、橋の2車線化、バス専用レーン整備、道路の拡幅、自転車通行可歩道の整備 等
 - ・ 移動販売車、宅配等のようにこちらに出向いてくれるシステムの充実を (2)
 - ・ 税金により運用しているから、赤字が続くようであれば、一旦廃止すべき (2)
 - ・ 季節に応じて運行企画したらどうか (花見シーズンの花見巡回、夏は上高地・乗鞍バス、秋は松茸コース、紅葉狩りコース、温泉巡り 等)
 - ・ 多くの人が安心できる形を検討して欲しい
 - ・ 利用している人たちの意見をよく聞いて
 - ・ 里山の地域の住みやすい環境を維持していくことは、市街地に生活する市民の環境や暮らしやすさ便利さをも保証することだということを理解して欲しい
 - ・ 弱者に寄り添うまちづくりを
 - ・ 寒さ暑さの対策がある待合室のある停留所設置を
 - ・ 自動運転の車を公共で用意し使いたい人に貸出しすればよい
 - ・ 公共交通が利用できてありがたい。市の財政を考えればこれ以上望めない
 - ・ より良いシステムが出来る事を期待している。アンケート結果を公表して欲しい
 - ・ バス停の時間前にバスを待っていても通過した後だったことが何回もある
 - ・ 背が低いので (スライドする) ステップがないバスは乗降が大変